
しのばず自然観察会より 2016-07 2016.08.14

2016年9月の活動 国分寺崖線沿いの庭園 (小雨実施)

と き：9月11日 (日)

集 合：午前10時 JR中央線国分寺改札前 (南口寄りです。緑の小旗が目印)

持ち物 筆記用具、弁当、飲み物、雨具、敷物、あれば双眼鏡

参加費 200円

- ・ 殿ヶ谷戸庭園入園料 150円 (65歳以上の方は年齢証明があると70円です)
- ・ 滄浪泉園入園料 100円 (60歳以上の方は年齢証明があると50円です)

9月の観察会は、国分寺崖線 (ハケ) 沿いの殿ヶ谷戸庭園・滄浪泉園を訪ねます。いずれも国分寺崖線を利用した、水をテーマにした高低差ある庭園です。また、開発から周辺住民が保存運動を展開した結果、都立庭園となりました。

2016年7月の活動 石神井公園の自然観察 より

7月の活動は3日(日)、石神井公園の自然観察でした。雨も降らず、16名の参加でした。西武石神井公園駅から少し歩いて公園に着き、池の南側に沿って歩くと、人だかりに出会いました。望遠レンズの砲列といった感じでしたが、鳥の巣を見ているのです。

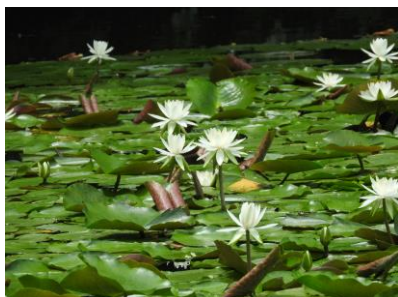
一瞬、茶色の鳥が目の前を横切ったように思えたのですが、それっきりでした。双眼鏡やカメラで頭上の枝をのぞくと、白い産毛の鳥のヒナが4羽見えました。小型のタカ、ツミの巣でした。ここは帰り道に寄った時も見物客が大勢いました。



ツミの4羽のヒナと横顔

奥の三宝寺池では、ヒツジグサが花を開いていました。お昼頃に咲くので、未の刻に咲くという意味でヒツジグサの名があるそうです。そのほか、ヤブミョウガが白い花をつけ、ハンゲショウが葉を半ば白くし、ガマやヒメガマが穂をもたげていました。天然

記念物のミツガシワは花が終わり、大きくなった葉を広げていました。また、最近、絶滅危惧種に位置づけられたスッポンも水面に顔を出していました。



ヒツジグサ

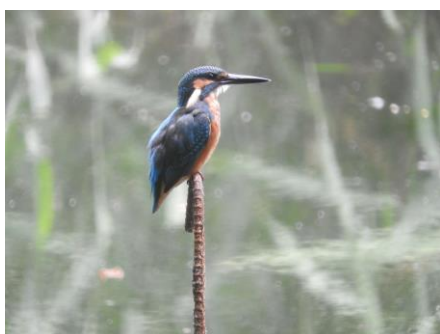


ハンゲショウ

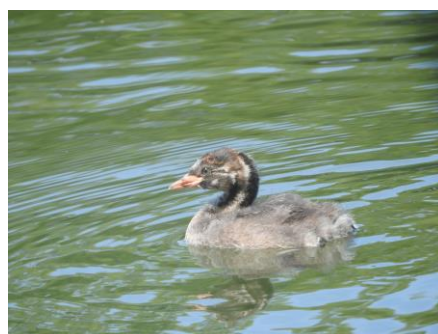


スッポン

この日は、人工的に鉄棒を曲げて作った止まり木にカワセミが止まって、長時間にわたって姿を見せてくれました。なかなか飛び去らないので、参加者の中からは、「もう見飽きたよ」という声も。カイツブリのヒナも好評でした。



カワセミ



カイツブリのヒナ

急報 台東区議会で、「上野の杜新構想」推進の議決

国立西洋美術館の世界遺産登録に続けと、「上野の杜新構想」推進の姿勢を台東区議会が決めました。新構想の裏にある上野公園の破壊と利権づくりへの責任が問われます。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL : www.ac.auone-net.jp/~sinobazu/
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

2015年以前の会費未納の方もお忘れなく！ 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。